

平成 27 年度 法科大学院（法務研究科）入学試験

# 刑 法 問 題 紙

A日程

平成 26 年 8 月 31 日

15 : 15～16 : 45 (90 分)

(120 点)

## 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を開いてはいけない。
2. 刑法の問題紙は 1 ページのみである。
3. 解答用紙は、問題 1 と問題 2 の 2 枚である。解答用紙の追加は認めない。
4. 解答用紙は 2 枚ともかならず提出すること。
5. 監督者の指示に従い、すべての解答用紙に受験番号と氏名を記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 試験終了まで退室してはいけない。

北 海 学 園 大 学

## 問題 1

Xは、通りかかったA運転のタクシーを呼び止め、「競馬場まで」と言って乗車した。タクシーが競馬場まで来た時、Xは乗車料金を免れようと考え、所携の拳銃を取り出し、矢庭にAの頭に向けて発砲した。弾丸は、Aの額にかすり傷を負わせた上、タクシーの窓ガラスを貫通して、たまたま競馬場の前の歩道を通行中のBの胸部に命中し、同人は即死した。一方、Aはかすり傷を負っただけであったが、ショックで呆然としている間に、Xは降車して逃走した。

Xの罪責について論じなさい(特別法違反は除く)。(配点 60 点)

## 問題 2

Xは、公道上において、日ごろから不仲のAとたまたま出会ったことから、いきなり同人に殴る蹴るの暴行を加え続けた。それを見たYは、Aに恨みを抱いていたことから、「俺もやるぞ」と言いながら、殴る蹴るの暴行を加え始め、Xもこれに加勢して同様の暴力をふるった。その結果、Aは、頭部に重傷を負ったが、それがX、Yいずれの暴行によるか分からなかった。

X、Yの罪責について論じなさい。(配点 60 点)